

ハミデル ハクブツカン 兵庫県立兵庫津ミュージアム



兵庫津ミュージアム 外観



ひょうごはじまり館 エントランス



ひょうごはじまり館
ダイナミックシアター



ひょうごはじまり館 いけすdeタッチ



2022年11月24日にグランドオープンした兵庫県立兵庫津ミュージアムは、博物館施設である「ひょうごはじまり館」と最初の兵庫県庁舎の復元施設である「初代県庁館」の2館が一体となった新しいタイプの施設です。

兵庫津の歴史や兵庫県の成り立ち、県を構成するひょうご五国の魅力を多彩な映像や体験型のコンテンツなど様々な手法を使って発信！従来の博物館とはひと味違う“ハミデル ハクブツカン”です。

【ひょうごはじまり館】

兵庫県の5つの特色ある地域「ひょうご五国」の魅力と兵庫津の歴史を発信する博物館機能を持った施設です。

吹き抜けのエントランスホールでは、天井には北前船デザインの行灯が、足元には兵庫県誕生の1868年当時の兵庫津を描いた鳥瞰図が広がり、過去に栄えた兵庫津から世界へ、未来へ出航していく雰囲気味わえます。

常設展示も「見て・聞いて・触って」楽しめる展示が盛りだくさん。高画質映像で県内の名所や兵庫県の歴史をミュージカルで楽しめる「ひょうごダイナミックシアター」、デジタル生簀内の魚を捕まえる「いけすdeタッチ」、ひょうご五国の魅力に触れ合える「ひょうご発見広場」など歴史好きな人はもとより、歴史について興味のない方でも楽しめる展示になっています。季節ごとのイベントもこれから開催する予定で、兵庫津から兵庫県を盛り上げていきます。

【初代県庁館について】

昨秋に先行開館した初代県庁館は、最初の兵庫県庁舎として利用した、大坂町奉行所兵庫勤番所を復元した施設です。

県庁舎だけでなく、初代県知事である伊藤俊介（博文）の執務室や、住み込みで働いていた下級役人（同心）の屋敷、裁きを行った「吟味場」、罪人を一時的に閉じ込めていた「仮牢」、蓬莱様式の日本庭園まで再現。幕末～明治維新の息吹を感じながら、ゆったりと過ごせる施設です。

また、若かりし伊藤俊介に会える、MR（複合現実）を使ったバーチャルVISITといった仮想空間での体験もできます。（※対象年齢13歳以上）

そして取次役所は、グランドオープンと同時に「兵庫津ミュージアムカフェ」にリニューアル。天井も高く座敷スペースもあり、ゆっくり寛げる空間となっています。



初代県庁館 県庁舎



初代県庁館 取次役所

※詳細は兵庫県立兵庫津ミュージアムのHP (<https://hyogo-no-tsu.jp/>) をご覧ください。ご来館の際は、新型コロナウイルスの感染対策に引き続きご協力をお願いします。当館HPなどで最新情報をご確認ください。